

編集後記

今年の夏は、東京で過去最多となる猛暑日を記録しましたが、秋分の日を境にようやく秋らしくなってきました。10月号の特集テーマは「大規模災害、防災、災害復旧、復興特集」です。ここ数年を振り返っても、2018年の北海道胆振東部地震、2019年の台風15号の暴風雨、19号の河川氾濫、今年の令和2年7月豪雨など激甚な被害を伴う災害が後を絶たない状況です。災害復旧や災害復興等のキーワードを盛り込んだ特集も近年毎年取り上げられています。

10月号では巻頭言に名古屋大学大学院工学研究科 中村教授に社会インフラの将来に向けた配置計画についてご執筆頂きました。行政情報では、災害時の電力安定供給への取り組みと、港湾における高潮、高波等に対する防災・減災の施策の情報を頂きました。特集報文では、防災・減災に関して地山補強のPAN WALL工法、プレキャスト部材を用いた既設堤体嵩上げ防水壁、無動力自動で開閉できる樋門施設、既存

の吹付法面を撤去せず法面補強するニューレスプ工法、鉄道高架橋壁高欄の剥落対策補強ガレットサンド工法などハード面と、AIを採り入れたインフラ点検会社の設立、長時間アンサンブル降雨予測システムによる豪雨災害時のダムによる洪水調節効果の最大化等ソフト面の紹介と、また安全指標 GNS に関する報文2編の紹介を頂きました。災害対応・復旧・復興では、急傾斜で活躍する大型モノレール、二次災害に対策された小型電動遠隔解体ロボット、コンクリート重量物を搬送据付できるリフトローラー工法、古いレンガトンネルを修繕する T3 パネル工法等災害時に活躍する機械類や、ハイパースペクトルカメラによる災害調査が紹介されています。また、災害復旧の貴重な施工報告として、群馬県の国道144号鳴岩橋緊急復旧工事の短期間での復旧施工のご紹介を頂きました。

最後にご執筆頂いた皆様にはご多忙中にもかかわらず当誌に執筆頂き感謝とともに御礼申し上げます。
(宮川・宇野)

機関誌編集委員会

編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	佐野 正道
新開 節治	関 克己
高田 邦彦	田中 康之
田中 康順	中岡 智信
渡邊 和夫	

編集委員長

見波 潔 村本建設(株)

編集委員

小櫃 基住	国土交通省
安井 清貴	農林水産省
瀧本 順治	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
穴井 秀和	鹿島建設(株)
赤坂 茂	大成建設(株)
宇野 昌利	清水建設(株)
佐藤 誠治	(株)大林組
内藤 陽	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
竹田 茂嗣	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
飯田 宏	東亜建設工業(株)
鈴木 貴博	日本国土開発(株)
斉藤 徹	(株)NIPPO
中川 明	コマツ
山本 茂太	キャタピラー・ジャパン
花川 和吉	日立建機(株)
上田 哲司	コベルコ建機(株)
石倉 武久	住友建機(株)
新井 雅利	(株)加藤製作所
小六 陽一	古河ロックドリル(株)
太田 正志	施工技術総合研究所

事務局

(一社)日本建設機械施工協会

11月号「道路特集」予告

・道路分野における新技術導入促進の取組 ・道路維持管理の高度化・効率化に向けた取り組み
 ・移動式防護柵 ・ウォータービュー高速道路プロジェクト ・円形セグメントとパイプルーフを用いた非開削トンネル工事の高速化・省人化 ・円形セグメントとパイプルーフを用いた非開削トンネル工事の高速化・省人化 ・プレストレスジョイントを用いた道路橋床版更新技術の開発 ・高速道路舗装の長寿命化に向けた高耐久路盤用混合物の開発と施工事例 ・みちびきの位置情報を付与した水系下がり検測デジタル化技術の開発 ・アスファルト舗装の品質と安全性の向上を目指した取り組み ・生産性と安全性の向上を目指した締め機械の特徴紹介

【年間定期購読ご希望の方】


①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。
 ②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえ FAX をお送りください。
 詳しくはHPをご覧ください。
 年間定期購読料(12冊) 9,408円(税・送料込)

建設機械施工

第72巻第10号(2020年10月号)(通巻848号)
 Vol.72 No.10 October 2020
 2020(令和2)年10月20日印刷
 2020(令和2)年10月25日発行(毎月1回25日発行)
 編集兼発行人 田崎 忠行
 印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内
 電話(03)3433-1501; Fax(03)3432-0289; http://www.jcmanet.or.jp/
 施工技術総合研究所 〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154 電話(0545)35-0212
 北海道支 部 〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8 電話(011)231-4428
 東北支 部 〒980-0014 仙台市青葉区本町3-4-18 電話(022)222-3915
 北陸支 部 〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1 電話(025)280-0128
 中部支 部 〒460-0002 名古屋市中区丸の内3-17-10 電話(052)962-2394
 関西支 部 〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4 電話(06)6941-8845
 中国支 部 〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22 電話(082)221-6841
 四国支 部 〒760-0066 高松市福岡町3-11-22 電話(087)821-8074
 九州支 部 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30 電話(092)436-3322

本誌上への広告は  有限会社 サンタナ アートワークス までお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138
 E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中